



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 中央魚類株式会社
コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 福元 勝志

TEL 03-6633-3000

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	107,712	14.0	2,046	8.3	2,229	9.3	1,344	45.8
2022年3月期第3四半期	94,509	34.1	1,890	38.9	2,040	29.8	921	7.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,958百万円 (36.2%) 2022年3月期第3四半期 1,437百万円 (9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	336.56	
2022年3月期第3四半期	230.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	86,124	26,122	28.4	6,131.78
2022年3月期	71,613	29,031	34.1	6,116.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,494百万円 2022年3月期 24,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				70.00	70.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	6.7	1,900	4.1	2,000	1.5	1,200	4.2	300.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	4,315,300 株	2022年3月期	4,315,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	320,760 株	2022年3月期	320,681 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	3,994,610 株	2022年3月期3Q	3,994,646 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの水際政策の緩和、全国旅行支援などにより観光関連産業は回復が見られました。ウクライナ情勢の長期化に伴い、世界的なエネルギー、食糧等の高騰が続き、米国をはじめとする主要先進国がインフレ抑制に向け金利引き上げを行う中、為替相場は10月に1ドル151円台という32年ぶりの円安を記録しました。しかし日銀が12月に長期金利の許容変動幅上限の拡大を決め、それまで0.25%程度に抑えてきた長期金利の上限を0.5%程度に引き上げたことにより、為替相場が急激な円高ドル安に推移し、8月以来4か月ぶりに130円台を付けるなど、大幅な為替相場の変動もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、一部水産物の価格が業界全体の在庫過多により12月後半に急落しましたが、水産物全般の単価高により販売数量は前年同期に比べ減少したものの、売上高及び営業利益は増加しました。冷蔵倉庫事業においては、電力料、荷役作業費等々、第2四半期以降、引き続き値上げの影響を受け、入出庫量の増加により売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

その結果、当社グループの売上高は107,712百万円（前年同期比14.0%増）となり、営業利益は2,046百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益2,229百万円（前年同期比9.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,344百万円（前年同期比45.8%増）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当第3四半期連結累計期間においては、販売数量は減少しましたが商品単価高の影響もあり、売上高101,149百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は1,058百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間においては、冷凍食品等の市販用商材を扱う物流センターが好調で推移した結果、売上高は5,638百万円（前年同期比13.6%増）となりましたが、経費の増加によりセグメント利益は554百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間においては、稼働率の向上により、売上高は478百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は410百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

(荷役事業)

当第3四半期連結累計期間においては、顧客への配送業務が増加で、売上高は445百万円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,510百万円増の86,124百万円となりました。これは主に現金及び預金1,301百万円の増加、売掛金12,048百万円の増加、商品及び製品1,925百万円の増加、有形固定資産1,062百万円の減少によるものです。

(負債)

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ17,419百万円増の60,001百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金9,223百万円の増加、2022年3月1日から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式取得資金などにより短期借入金6,250百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,909百万円減少し26,122百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,344百万円の計上、2022年3月から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式を取得したことなどにより資本剰余金1,348百万円の減少、非支配株主持分2,969百万円の減少、剰余金の配当279百万円減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の予想につきましては、水産物全般の単価高により売上高、売上総利益が想定以上に増加したことを踏まえ、「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、修正をさせていただいております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,542	8,844
受取手形	27	35
売掛金	11,929	23,977
前渡金	24	90
商品及び製品	8,169	10,095
原材料及び貯蔵品	52	65
その他	1,015	473
貸倒引当金	△359	△481
流動資産合計	28,402	43,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,063	21,087
機械装置及び運搬具(純額)	1,621	1,435
土地	6,354	6,296
リース資産(純額)	697	825
建設仮勘定	—	0
その他(純額)	202	231
有形固定資産合計	30,940	29,877
無形固定資産		
借地権	2,341	2,303
のれん	28	7
その他	579	547
無形固定資産合計	2,949	2,858
投資その他の資産		
投資有価証券	7,833	8,735
長期貸付金	82	125
差入保証金	300	300
繰延税金資産	398	395
退職給付に係る資産	588	605
その他	290	317
貸倒引当金	△172	△192
投資その他の資産合計	9,322	10,288
固定資産合計	43,211	43,024
資産合計	71,613	86,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,097	19,320
短期借入金	4,400	10,650
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,990
未払金	187	245
未払法人税等	619	443
賞与引当金	259	110
役員賞与引当金	31	11
関係会社整理損失引当金	—	71
修繕引当金	20	20
その他	2,567	3,077
流動負債合計	19,980	35,941
固定負債		
長期借入金	18,538	19,615
長期未払金	205	218
繰延税金負債	1,159	1,296
役員退職慰労引当金	13	14
退職給付に係る負債	1,460	1,487
その他	1,224	1,428
固定負債合計	22,601	24,059
負債合計	42,582	60,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	1,348	—
利益剰余金	17,636	18,526
自己株式	△695	△696
株主資本合計	21,285	20,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,040	3,578
退職給付に係る調整累計額	107	89
その他の包括利益累計額合計	3,148	3,667
非支配株主持分	4,597	1,627
純資産合計	29,031	26,122
負債純資産合計	71,613	86,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	94,509	107,712
売上原価	84,743	97,320
売上総利益	9,765	10,392
販売費及び一般管理費	7,875	8,345
営業利益	1,890	2,046
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	197	298
持分法による投資利益	2	22
その他	87	97
営業外収益合計	296	422
営業外費用		
支払利息	133	151
その他	12	88
営業外費用合計	146	239
経常利益	2,040	2,229
特別利益		
固定資産売却益	202	93
投資有価証券売却益	—	27
補助金収入	112	30
特別利益合計	314	151
特別損失		
関係会社株式売却損	124	—
固定資産圧縮損	—	30
関係会社整理損失引当金繰入額	—	71
特別損失合計	124	101
税金等調整前四半期純利益	2,231	2,279
法人税等	847	840
四半期純利益	1,384	1,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	462	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	921	1,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,384	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	537
退職給付に係る調整額	△4	△18
その他の包括利益合計	53	519
四半期包括利益	1,437	1,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976	1,863
非支配株主に係る四半期包括利益	461	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年2月28日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式を取得したことにより、資本剰余金が1,523百万円減少しました。これにより、資本剰余金が負の値になったため、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,776	4,965	409	357	94,509	-	94,509
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	257	131	256	648	△648	-
計	88,779	5,222	541	614	95,157	△648	94,509
セグメント利益	930	586	334	40	1,890	△0	1,890

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	101,149	5,638	478	445	107,712	-	107,712
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	282	237	184	706	△706	-
計	101,151	5,921	716	630	108,419	△706	107,712
セグメント利益	1,058	554	410	22	2,047	△0	2,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。